

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひとつむぎ高浜		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日	～	令和7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 20日	～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 1日	～	令和7年 2月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員が訪問していること。(OT 1名、ST 2名)	専門職員(OT、ST)からの視点で考えられることを訪問先へお伝えしている。	専門職員(OT、ST)の連携を強化することで、より多角的な支援をすることができる。
2	複数の専門職員が従事することで多角的な見方ができる。	訪問の様子を見て、個別で取り入れた方がよいことはOT・STの時間に行っている。	ひとつむぎで行ってるOT・ST及び放課後デイの様子を訪問先と共有する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職員が常勤ではないため、訪問日が限られている。保護者の希望時間に訪問出来ない場合がある。	訪問に行ける候補日が少ない。	訪問先と情緒共有の場を確保して、希望のあった時間の様子の聞き取りを行っていく。
2	専門職員が常勤ではないため、連携が弱い。	常勤の専門職員がいない。	保護者の同意を得て、OT・ST及び放課後デイの様子、訪問時の様子を関係者と共有していく。
3			